

2026年6月1日

【武蔵大学】歴史学者の本郷和人氏が特別招聘教授に就任

学生への正課授業に加え、一般向けの講座まで幅広く担当

武蔵大学（東京都練馬区／学長 高橋徳行）は、歴史学者として活躍する本郷和人氏を2026年6月1日よりリベラルアーツ&サイエンス教育センター（LASEC）の特別招聘教授として迎えます。本郷氏は、ながらく東京大学史料編纂所の教授を務め、数多くの著書や論文を発表するとともに、歴史ドラマやアニメなどの時代考証も手がけてこられました。武蔵大学では、全学生を対象とする日本史関係の授業や社会人向けの公開講座を通じて、学びのすそ野を広げる役割を担っていただくこととなります。

本郷 和人 氏プロフィール

1988年 東京大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得退学
1988年 東京大学史料編纂所 助手
2000年 東京大学史料編纂所 助教授
2008年 東京大学史料編纂所 准教授
2012年 東京大学史料編纂所 教授
2026年3月31日 東京大学史料編纂所 退任
2026年6月1日 武蔵大学特別招聘教授 就任



本郷 和人 氏のコメント

私は武蔵高等学校中学校の卒業生です。このたび、母校と同じ学園である武蔵大学で教える機会を与えられ、心から喜んでいます。私の専門である歴史学の研究は、新発見の古文書を読んだり歴史的イベントの現場を詳しく調査したりする必要があるため、一般の人にとっては敷居が高いかもしれません。しかし研究の成果を公表するときには、ほかの学問とはやや異なり、小学生から高齢者まで、だれにでも理解できる言葉で表現することができます。武蔵大学でもこれを実践し、いわゆる「専門知」と「総合知」をつなぐ役割を果たしたいと考えています。

参考

リベラルアーツ&サイエンス教育センター（LASEC）について

<https://www.musashi.ac.jp/education/lasec/>

—報道関係者問い合わせ先—

武蔵大学 広報部 担当：増田・西（ますだ・にし）

TEL：03-5984-3813 E-mail：pubg-r@sec.musashi.ac.jp

■武蔵大学 日本で初めてリベラルアーツ教育を行った旧制高等学校がルーツ

〔アクセス：西武池袋線「江古田駅」から徒歩6分〕

武蔵大学のルーツは、東武鉄道や東京地下鉄道（現東京メトロ）など多くの鉄道事業に携わり「鉄道王」と呼ばれた根津嘉一郎（初代、1860～1940）が、1922（大正 11）年に私財を投じて創立した日本初の私立七年制の旧制武蔵高等学校。戦後の学制改革により、1948（昭和 23）年4月に新制武蔵高等学校、翌年に新制武蔵大学、新制武蔵中学校が開設され、学校法人根津育英会武蔵学園として現在に至る。一年次から4年間のゼミナール（小規模で対話型の授業を含む）が必修で「ゼミの武蔵」といわれる。

2020年3月には、ロンドン大学と武蔵大学とのパラレル・ディグリー・プログラムにおいて初のロンドン大学学位取得者を輩出、グローバル教育の更なる発展に力を注いでいる。

2022年4月、学園創立100周年を迎えたこの年に、新学部となる国際教養学部を開設し、経済、人文、社会、国際教養の4学部9学科となった。

2027年4月からスタートする新カリキュラムでは、データサイエンス系の新専攻として社会学部に「情報社会デザイン専攻」、国際教養学部「ビジネスデータサイエンス専攻」を設置予定。さらに国際教養学部の経済経営学専攻は学びを広げ、「経済・経営・国際関係専攻」へと名称を変更予定。

建学の三理想

1. 東西文化融合のわが民族理想を遂行し得べき人物
2. 世界に雄飛するにたえる人物
3. 自ら調べ自ら考える力ある人物

学長 高橋 徳行 〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1